

会 議 録

会 議 名	第 2 1 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 6 回		
事 務 局	公民館 本館		
開 催 日 時	平成 2 4 年 1 月 1 0 日 (火) 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時		
開 催 場 所	公民館本館		
出 席 委 員	阿部委員、遠藤委員、末包委員、菅沼委員、野口委員、福井委員、		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	渡辺社会教育主事、和田主任、渡辺主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1 東京都公民館研究大会小金井報告会について 2 主催事業について ○福祉会館まつりについて ○まちづくり講座・成人学校・応募状況 ○男女共同参画講座について 3 来年度事業について 4 その他		

司会 野口企画実行委員

それでは、東京都公民館研究大会小金井報告会からお願いします。

1 東京都公民館研究大会小金井報告会について

渡辺（陽）：すっかり恒例になりました、公民館研究大会の小金井報告会を本年も開催します。特に、全体会が行われなくなりましてから、大会全体の趣旨や、参加された課題別集会以外の集会においてどのようなことが話されたかの経験を共有することが大切ということで、小金井独自で反省会をもつことになったものです。本年は、1月17日、火曜日の午前10時30分から、ここ学習室A Bで開催されます。

末包委員：各課題別ごとに発表するという方法で行われると思いますが、いきなり発表するのは大変なのではないかと思います。あらかじめ、発表する方を決めておくのでしょうか。

菅沼委員：大会自体に参加できませんでしたので、当日の各課題別にわかれての話し合いにも参加できません。ですから報告会にも欠席します。

末包委員：研究大会に欠席した方にとっても、どういう大会であったのかを知る機会ですから、参加することは意義があると思います。

遠藤委員：私も当日、所用で出席できません。

渡辺（陽）：運営方法をここだけで、決めることはできませんが、各課題別に参加された方々ごとにお集まりいただいて、冒頭に各課題別の反省についての話し合いをもっていただく予定です。その際、冒頭に発表される方を決めておいていただくことはどうでしょうか。

司会：メモをとることも必要ですし、いきなり発表するのは厳しいでしょう。誰が発表するのを冒頭、決めておくほうがいいかもしれませんね。次に、主催事業のお話に移ります。まず、福祉会館まつりからお願いします。

## 2 主催事業について

渡辺（陽）：昨年、12月19日に福祉会館集会室A Bにおいて福祉会館まつり準備会を開催しました。冒頭、第10回福祉会館まつりの反省会において出た意見を確認しました。公民館に関係のあることを中心に報告します。ご存じのとおり、震災を受けて実施するかどうかから話し合いを始めたまつりでした。結論として、自粛して開催しないことは、かえって復興の趣旨に反するということになりまして、災害義援金を集める形で実施したものです。公民館においても、これまで小金井市として長い間取り組んできました、三宅島の取り組みを振り返れることを通して、復興支援のあり方を考える企画を提案しました。同時に地震への備えをテーマとした映画を上映しました。全体のまつりは、確かに参加人数は少なくなりましたが、こういう形で実施したことはよかったという評価でした。また、マンネリ化を打破するために、新しい企画をとり入れるべきという声がありました。公民館に対しては、地域の小学校との提携した子どもたちの作品が発表できる企画、農協とのコラボ等の企画を検討して欲しいという要望がされました。また、特別イベントとしての企画も、ひとの集まる企画を設定して欲しいという要望がありました。

遠藤委員：私も実行委員長をやりました。かつては、公民館まつりであったので、企画実行委員が中心に、まつりを作っていました。

司会：それでは、公民館企画を中心に、当日の参加をよろしくお願いします。

### ○まちづくり講座応募状況について

渡辺（太）：実施期間は、1月25日から2月8日の間の毎週水曜日、計3回講座で行います。市報1月15日号で募集をかけ16日から申込みを受け付けています。今日現在で4人の応募があります。

福井委員：去年は参加者が20人くらい集まったので、お手元のチラシで各委員さんからもPRをお願いできたら幸いです。

### ○成人学校応募状況について

渡辺（太）：実施期間は、1月16日から30日の間の毎週月曜日、計3回講座で行います。こちらは、市報1月1日号で募集をかけ1月5日から申込受けし、初日の午前中で定員の60人に

達し既に申込みを締め切っております。

遠藤委員：初め緑分館で実施し好評だった。昨年から本館で実施するようになったが、その流れで昨年、今年と申込みが多いと思う。

野口委員：講師の解説も良いので日程と時間、興味がある方は申込みと思う。

#### ○市民講座について

渡辺（太）：実施期間は、1月26日から2月23日の間の毎週木曜日、計5回講座で行います。こちらは、市報1月15日号で募集をいたします。こちら是非、PRをお願いします。

なお、本日この企画実行委員会終了後、講師の上田さんと打合せがありますので、担当委員さんはよろしく願いいたします。

福井委員：この成人学校でまちづくり講座のチラシの配布をお願いいたします。

#### ○男女共同参画講座について

和田主任：応募状況ですが、現在4人でうち2人が初日のみの参加と言う非常に厳しい状況です。先週に子育て支援センター、本庁舎、第二庁舎、男女共同参画室にチラシを配布し、また、この近辺の市民掲示板にポスターを掲示して来ました。既にホームページにもアップしています。再度トップページにアップしていますが、申込み状況は報告した状況です。

男女共同参画室とも相談したのですが、公民館で取上げるのは厳しいのではという話で、例えば、人が集まる6回講座のうちの1項目で行う方が良いのではという話しになりました。男女共同参画講座としての枠にこだわることはないのではとのことでした。今後、他の講座に織り交ぜて行う方法もありかなと思います。

菅沼委員：この講座は歴史が長いと思いますが。

和田主任：公民館で取上げたのは、4年になります。その前までは女性講座でした。そのころから参加者は10人前後だったと思われます。

末包委員：男女共同参画という言葉にひっかかるものがあると思います。しかし、小金井市は日本で初めて男女共同都市宣言しています。

菅沼委員：他市は講座として取上げているのか。

和田主任：カルチャー的なものはあるが、男女共同参画講座としては取上げていません。来年以降は考えて行かなければならないと思う。

### 3 来年度事業について

渡辺（陽）：次回ですが、3月に来年度の事業計画の枠組みを決めますので、その前の2月の企画実行委員の会議で、事業実施時期など検討いたしましょう。来年度の事業予算についてお話しします。講座回数としては、来年度も多摩島しょの枠が確保できまして、12講座増となります。市民講座、成人大学各1講座減で、トータル10講座増となります。かなり来年度も忙しくなりますがよろしくお願ひします。また、その次の年度のことは、まだ議題にするのは先のことですが、多摩島しょの補助金が受けられなくなったときには、減らした講座の復活が必要という議論がありました。

### 4 その他

司会：公民館キャッチコピーについて、説明してください。

福井委員：実際、月刊こうみんかんを見ながらのほうがいいと思います。

渡辺（陽）：それでは、「月刊こうみんかん」1月号をご覧ください。1面、右上に、“公民館は市民のみなさんの○自由なたまり場です○グループ活動の拠点です○学習を深める「私の大学」です○文化創造のひろばです”とあります。ご存じのとおり、三多摩テーゼの有名な原則です。これを新しくするのですから、読者にもひろく呼び掛けて公募し、3案を選びましょうということになったものです。

司会：選ばれますとどういう特典があるのですか。

渡辺（陽）：はい、その3案を順番で「月刊こうみんかん」の1面に掲載いたします。小金井市公民館を表す、キャッチコピーをぜひお寄せください。

福井委員：締切まで、まだ1カ月期限がありますので、考えてみましょう。

以上